

第2回全体調整会議 議事概要(案)

- 日 時 平成21年12月8日(火)10:00~12:00
- 場 所 合同庁舎4号館742会議室
- 出席者 津村政務官、相澤議員、本庶議員、奥村議員、白石議員、今榮議員、青木議員、藤田政策統括官、梶田審議官、岩瀬審議官、大江田審議官

○議事概要

1. 優先度判定等の最終案について

→各分野における優先度判定等の最終案について、各担当議員の方から、第1回全体調整会議との変更点について主に説明。主なやりとりの概要は以下のとおり。

【パブリックコメントの優先度判定の理由(最終決定)への反映について】

- (相澤議員)とりまとめシートに、優先度判定等を行う際に留意したようなインパクトのあるパブリックコメントがあればそれを載せることとした。
- (本庶議員)「留意したパブリックコメント」に担当議員の名前を書くのはおかしいと思うので、担当議員名を削除した方がよい。
- (津村政務官)パブコメの記載箇所の担当議員名は消された方がよい。沢山あるパブリックコメントの中から何故ピックアップしたか担当議員に良く見ていただき、了解をいただくべきである。

【沖縄科学技術大学院大学の開学事業について】

- (白石議員)第1回全体調整会議の後、地元関係者等との意見交換の機会を設定し、ヒアリングを行った。その結果、本事業について、沖縄の振興という観点からは非常に重要であるものの、科学技術の振興という観点からグローバルに見た場合に、トップレベルの人材が集まるのかといった問題がある。長期で見た際に持続可能かという問題もある。ただし、評価を落とすのは大変重いので、きちんと判断しないとイケない。この場で議論したい。私の提案としては、「着実」を「減速」にするという意見。
- (本庶議員)私もライフ分野について主に見ているが、同様の意見。Boardの構成が、地元沖縄の要望を十分に受け入れる体制になっていないのでその点について将来見直さないとイケない。
- (奥村議員)本事業の持続性について懸念を感じる。
- (今榮議員)現在、日本においても他の科学技術大学院大学があるが、奈良(先端科学技術大学院大学)は学生が良く集まるが、北陸(先端科学技術大学院大学)は大変と聞いている。沖縄も他の教育機関と連携していくというスタイルが現われていない。
- (青木議員)沖縄地域には既に琉球大学があるのに、連携していく姿勢がはっきりしていない。
- (相澤議員)見解については、白石議員が提示した案で異論がないので、優先度判定を「減速」にするか、「着実」にするか判断しなければならない。
- (白石議員)今後、本事業を成功させるためには、根本的に解決すべき点があり、むしろ今、時間をかけて最適な事業のあり方について検討する方がよいと考えられるため「減速」を提案する。
- (相澤議員)私が懸念しているのは、沖縄科学技術大学院大学について、研究体制を決め、これから施設整備等を行うときに、「減速」としてしまうと、その整備等が進まなくなるのではないかと言う点である。
- (白石議員)本事業の全てを中止しなさいと言うことではない。
- (本庶議員)計画の見直しを含むものであり、今の仕組みの再検討が必要である。従って、「減速」とすべき。
- (白石議員)ヒアリングをしてみて、沖縄の熱意に大変感銘を受けた。しかし、我々とし

- ては、科学技術上の観点から評価を決断することが重要と考える。
- (奥村議員) 研究機関としては進展しているが、実は教育機関としては見えていないのが現実ではないか。
- (本庶議員) 他の先端科学技術大学から比べると遥かに大きい国費が投入されており、経営としてどうなのかという疑問がある。
- (津村政務官)「着実」にするか「減速」にするか、非常に悩ましい問題であると理解する。たとえばの提案であるが、今年限りの評価ではなく、「来年もサポートします」と継続的に見ていくようなメッセージを打ち出せるように配慮するのも手ではないか。
- (相澤議員) 政務官の指摘は重要と考える。これまでの議論を踏まえ、見解について我々の目指すところは一致している。その中で、①「着実」としつつ厳しい注文を付け来年度以降見直しがなされない場合は減速もあり得る、といったトーンとするのか、②「減速」とするが将来に渡って条件が改善されるようであれば「着実」や「加速」もあり得る、といったトーンとするのかということであろう。
- (本庶議員) 昨年及び一昨年の優先度判定においても同様の指摘を CSTP から行ったが、改善がされなかった。
- (白石議員) これまでの議論を踏まえると、①「減速」とするが施策を廃止するというのではなく、条件をクリアすることによって将来「加速」もあり得る、とするのか、②今年「着実」とするが重大な懸念があり、条件を解決しなければ将来「減速」もあり得る。とするのかの2択であろう。
- 私としては、今「減速」として見直しの指摘を与えた方が、将来にわたる成功のためと考える。
- (今榮議員) 非常に難しい問題だが、昨年も同様のコメントを出していて反映されていないのであれば「減速」とすべきではないか。
- (相澤議員) 私個人としては、「着実」にすべきと考える。研究機関として着実に進んでいることへの影響を懸念している。ただし、教育機関としては取組が不十分であることは十分承知している。
- (本庶議員) 潰すという意味の「減速」ではないが、Board の構成も見直しに入れるべきだとすると根本的な問題といわざるを得ない。
- (相澤議員) これまでの議論を踏まえ、担当議員として白石議員の考えを伺いたい。
- (白石議員) 私としては、「減速」とするが、できるだけ前向きなコメントを出すことが現実的と考える。
- (奥村議員) 何えほど構造的な問題であり「減速」でやむをえないのではないか。
- (相澤議員) これまでの議論を総括し、「減速」とするが、条件をクリアすることによって将来「加速」や「着実」もあり得るといった見解を示す方向で修正することとする。

【次世代スーパーコンピュータについて】

- 奥村議員から、第1回全体調整会議からの変更点等について資料を用いて説明。
- (津村政務官) 私の立場としては、評価についてコメントする立場にないと考える。概要のポンチ絵を準備していただいたが、「こういう条件で着実とする」といった条件等について分かりやすく表現することが必要ではないか。
- (奥村議員) パブコメ等を再度精査したが第1回全体調整会議と第2回全体調整会議の間で公聴会開催のような判断を大きく変更する事情はないので、基本的な変更はなく条件付きの判定にする必要はないと考えている。

2. 総括的見解について

- 相澤議員より説明があり、原案のとおり了承し、本日の大臣及び有識者議員会合に報告することとなった。

3. 附帯意見について

→議論を踏まえ、必要な修正を行った後、大臣及び有識者議員会合に諮ることです承。

主な概要は以下のとおり。

(本席議員) 2つ目の「政府の予算案に反映されないことがあり得る。」というのは決まったことではないので、「反映されることが困難な場合であっても、」という表現にしておいた方が良いのではないかと。

(奥村議員) 一定の予算確保すべきものは人材育成に絞るべきではないか。総じて冗長な文章になっており、附帯意見という緊急性のあるものなのに、迫力がない。

(白石議員) 2つめの・の・のところの「知的ストック」のところを書いた後、「①、②、③(個別項目)について一定の予算を確保すべき」というトーンにしてはどうか。

(相澤先生) 私としても、白石先生のコメントのとおりとすることが良いと思うので、必要な修正を行った上で、本日の大臣及び有識者議員会合に報告することとしたい。

(以 上)